

外岡立人

# パンデミック追跡者

第一巻好評発売中

2003年、中国南部から香港で流行が始まった謎の新型肺炎。鳥インフルエンザの専門家である遠田医師は、香港にWHO協力研究者として派遣される。遠田はそれは鳥インフルエンザではなく、全く新しい新興感染症であることを確認し、SARS（サーズ）と命名される。

SARSは非常に致死率の高い新興感染症として世界中に拡大の様相を見せる。遠田は日本への拡大を危惧し、国や報道機関に情報を伝えるが、それは無視される。日本の社会の危険性を知った遠田は、医師としてのモラルに従うための行動に悩むが、事態は予想外の展開となる。

著者は、SARSと新型インフルエンザの海外情報をウェブで集約し、国内で評価の高い情報サイトを主宰してきた、作家でもあり、公衆衛生学専門家でもある現役の医師。「パンデミック追跡者」は新型インフルエンザ発生危機の最中に書き下ろした話題作である。続いて第二巻では、SARSウイルスから鳥インフルエンザウイルスへの人為的遺伝子操作の疑いをもった遠田医師が、友人の米国CDC長官と世界のパンデミック（爆発的感染）に挑戦する推理サスペンスドラマへと発展してゆく。

「パンデミック追跡者 第2巻」ついに刊行!!  
好評の第1巻に引き続き、第2巻の刊行を開始。

ついにインフルエンザのパンデミックは日本国内に広まった。これを知った遠田医師の日本封じ込め作戦とは、意外なものだった。アンチパンフルの散布による防衛。他方、北海道R島での封鎖作戦は刻一刻と迫っていた。追跡者遠田は、日本を救うために奔走する。果たしてその結果は――？

### 外岡立人（とのおかたつひと）

1944年、北海道生まれ。北海道大学医学部卒。

二年間、ドイツ・マックス・プランク免疫生物学研究所に留学。小樽病院などで28年間、小児科医として勤務。08年8月まで小樽市保健所長。新型肺炎（SARS）やノロウイルスなどの感染症の情報を開示。「鳥および新型インフルエンザ海外直近情報」は、鳥インフルエンザに関する、全国の行政、医療関係者への重要な情報源として評価されている。

1994年、北海道文学賞受賞、1997年、さきがけ文学賞受賞、2002年、関西文学選奨受賞。

【主な著書】

「新型インフルエンザ・クライシス」（岩波書店）、「メダルと墓標」（講談社）、「顔」（澁標出版）、「美しい顔」（講談社）他。

### 書籍注文書

外岡立人 著 **パンデミック追跡者 第一巻/第二巻**

ご住所 〒

部道  
府県

TEL ( )

お名前

第一巻 四六判 上製本 210頁 **発売中**

定価1,575円（税込）→10%割引1部1,417円+送料無料!!

部数

冊

第二巻 四六判 上製本 230頁 **09.04.12発刊**

定価1,575円（税込）→10%割引1部1,417円+送料無料!!

部数

冊



株式会社リトル・ガリヴァー社

〒543-0072 大阪市天王寺区生玉前町4-19-501 柳田ビル

TEL06-6775-9721 FAX06-6775-9757

書籍のご注文はホームページでも承っております。

<http://www.l-gulliver.com/>

e-mail [hensyubu-1@l-gulliver.com](mailto:hensyubu-1@l-gulliver.com)